

飯田市 歴史 ニュース



News-Letter NO.10

発行日 2004年6月20日

発行 飯田市歴史研究所

〒395-0002

長野県飯田市上郷飯沼3145

電話 0265-53-4670

ファクシミリ 0265-21-1173

E-mail iibr@city.iida.nagano.jp

飯田市の歴史的建造物調査を開始します

歴史研究所では、基礎共同研究の一環として、飯田市内に残る歴史的建造物の調査を開始します。文化財の調査にとどまらず、将来的な飯田市のまちづくりにも関わる重要な調査となります。

調査の目的

近代の建造物が更新期を迎え、次々に取り壊される事例が近年数多くみられ、地域に住む人々、研究者の間からもこれら歴史を積み重ねた空間が失われることを惜しみ、将来に対する危惧を感じる声が寄せられるようになってきています。

飯田市においては、文化財予備軍となる建造物の調査を全市的に取り組んだことはこれまでになく、全体像の把握もできていません。歴史研究所は昨年12月に開所したばかりですが、市にとって歴史的建造物の全市的な調査を急務ととらえ、取り組みます。

調査の方法

「おおむね築50年以上、地域に親しまれ、大切にしていきたい建造物」を対象に、地域のみなさんの協力を得、地域のみなさん自身にリストアップをお願いします。

その後リストアップいただいた建造物全ての現地調査に入ります。この段階でも地域住民のみなさん、建築士の方と、研究者との協働作業を想定しています。ここまでの段階を2年間で行う計画です。

さらにこの調査において、重要性の高いと判断された建造物については、改めて本格調査を行います。

調査結果を基に

調査やその後の研究を通して、これらの建造物の現代に至るまでの地域社会の歴史との密接な関わり合いを知ることができるものと思います。調査結果を公開していくのと同時に、今後のまちづくりに向けての提言を行っていきます。



飯田の 歴史資産 としての建築

飯田市歴史研究所
顧問研究員
東京大学大学院教授
伊藤 毅



地域の文化や歴史を大事にする飯田にとって、ややないがしろにされてきたのが建築ではなかったでしょうか。飯田の旧市街は昭和22年の大火で過半を焼失してしまいましたが、火の手を免れた貴重な歴史的な建築はつい最近まで残っていました。ところが近年こうした貴重な歴史的資産の価値を十分に自覚しないまま、簡単に取り壊されたり、改変が加えられたものが目に付くようになりました。

建築を機能や有用性のみで語ることはできません。建築は時代の証言者であったり、当時の人々の思いや無名の職人たちの努力によって作られてきた地域の財産なのです。これを狭い意味での文化財として残すだけでなく、現在に生きる地域の人々の生活や記憶のよりどころとして、町づくりのかけがえのない手がかかりとして、また子孫に飯田の文化や歴史を伝えてゆく媒体として、再認識したいものです。環境文化都市を目指す飯田の建築文化を守り、育てていくために、いま新しい取り組みが始まろうとしています。行政・市民一体となって、飯田の建築を愛してくださることを願ってやみません。ジオ・ポンティ(※)の「建築を愛しなさい」という名句を思い起こしながら…

(※) ジオ・ポンティ (1891-1979)
イタリア建築界の父と呼ばれ、イタリア・モダンを代表するデザイナー。ミラノのピレリ・ビル、香港のシュエイ・ヒン・デパート、オランダのピゼンコルプ・デパート、タラント大聖堂など世界中の建造物に加え、家具や食器などのインダストリアルデザインでも有名。1928年にインテリア誌「ドムス」を創刊し、編集長としても活躍。

飯田アカデミア2004

第4回講座

7月24日(土)・25日(日)

昔の子育て・今の子育て

講師 田嶋 一さん 國學院大学教授

地域社会には古くから子どもたちを「一人前」にまで育て上げるためのさまざまな知恵や工夫、行事などが伝えられてきました。本講座では、これを地域社会と家族が自前で作り出した世代交代（人間形成）システムととらえ、教育学や民俗学、歴史学、比較文化論などの研究成果に依拠して、人間についての考え方や命についての考え方などまで含めその体系の全体をおさえていきます。さらに、参加者のみなさんとともに、飯田市域の子育ての文化について検討していきます。

■時間

1日目（土曜日）13：00～16：30

2日目（日曜日）10：00～14：30

★90分間の講義を4回、2日間にわたって行います。

■会場

飯田市歴史研究所（飯田市役所上郷庁舎）
3F会議室

■募集人員 35名

■受講料 資料代として500円（2日間分）

■お申し込み方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

■申込・問合せ

飯田市歴史研究所 電話（53）4670

第2回飯田市地域史研究集会

シンポジウム

下伊那の国学

第2回研究集会を開催します。今回は幕末以降の下伊那を特色づける重要なキーワード「国学」をテーマにシンポジウムを行います。また多彩な研究報告や各種企画も予定しています。

地域史研究の現在を見つめ、意見を深め合いましょう。

★日程 8月21日(土)・22日(日)

1日目 シンポジウム「下伊那の国学」

記念講演 宮地正人さん（国立歴史民俗博物館長）
「伊那の国学」報告 林登美人さん（前高森町歴史民俗資料館長）
「史料整理を通して垣間見た伊那谷の平田国学」

2日目 研究報告

歴史や考古などに関する研究報告

★会場 追手町小学校講堂

★参加費 資料代として500円（2日間分）

★問合せ 飯田市歴史研究所
電話（53）4670★21日の午前中、公開で研究員会議を行います。
（会場：りんご庁舎3階会議室）プレシンポジウム 読書会 7/10(土)
国学からみる幕末の下伊那

幕末期の国学は下伊那地域に大きな影響をもたらしました。地域に住む国学者たちが政治や地域社会と関わり、時代を生き抜いた様子を、一緒に本を読み、意見を語り合ってみませんか。

テキストは宮地正人著「明治維新と中津川」（『街道の歴史と文化』第2号）ほか。参加される方には事前にテキストを配布し、各自でお読みいただきます。当日は本の内容をもとに自由に意見交換をします。

日時 7月10日（土）

午後2時～4時

会場 飯田市歴史研究所3階
（飯田市役所上郷庁舎）

参加費 600円（テキスト代）

申込期限 6月30日（水）

申込方法 電話でお申し込みください。

申込・問合せ 飯田市歴史研究所
電話（53）4670

★テキストの著者宮地正人さんは8月の研究集会シンポジウムの講師です。読書会を通じて「下伊那の国学」に関する理解を深めましょう。

歴史研究活動助成(2004年度) 募集中

前年度に引き続き、地域史研究に関するみなさんの活動を助成します。

◆対象とする専門分野 歴史関係全般

◆応募資格

- 飯田市内・下伊那郡内に住所を有する個人または団体
- 大学の卒業論文・修士論文を作成するための研究を行う方

◆助成金額

- 市民・郡民および卒業論文 10万円以内
- 修士論文 15万円以内

◆申請手続

- 提出書類 研究計画書
- 提出期間 2004年6月15日(火)~7月10日(土)

◆助成の条件

- 飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること
- 新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること
- 研究成果の発表を、所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表することを原則とすること

◆審査方法

歴史研究所研究部が行う。

◆研究論文等の提出

研究論文等完成後、速やかに(2005年2月まで)論文等の複製を研究所に提出する。ただし、修士論文について、研究の初年度の場合は、中間報告書を2005年2月までに提出する。

◆助成金の交付

助成金の交付は、助成の条件などに関して必要な審査を行い、交付することが適当と認められたものについて、2005年3月までに行う。

※詳しくは歴史研究所へお問合せください。

月例研究会

歴史研究所では月例研究会として、月に1度スタッフが研究内容を報告し、自由な意見交換を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。

6月の月例研究会

- 日時 6月26日(土) 14:00~15:00
- 場所 歴史研究所研修室(飯田市役所上郷庁舎)
- 報告 近世島田村「農業雑記」を読む
多和田雅保(歴史研究所研究員)

※なお、7月はプレシンプ(読書会)開催、8月は研究集会開催のため、月例研究会はお休みです。



歴研ゼミナールだより

近世史ゼミ

- 4月6日 史料研究「宝暦五年六月 下川路村等三カ村天龍川川除出入内済証文」
- 4月20日 史料研究「精白業者に依存する村」
- 5月11日 史料研究「入会地の少ない村の生活」
- 5月25日 文献講読「近世の百姓と町人一山口啓二『鎖国と開国』にみる一」
- 6月8日 史料研究「水源を持たない村」

近現代史ゼミ

- 4月8日 今年度ゼミ研究内容の検討
- 4月22日 地域史料論「『長野県統計書』による明治・大正期の下伊那地域人口構成」
- 5月13日 文献講読『戦後経験を生きる』(吉川弘文館、2003年)
(特)総力戦の時代 一戦時下のくらし
- 5月27日 文献講読 (つづき)
二 戦争と文化
三 軍隊体験と戦場体験
- 6月10日 大正・昭和期の聞き取り調査まとめ

近世史ゼミ：隔週火曜日夜7時~

近現代史ゼミ：隔週木曜日夜7時~

ジュニアゼミ：隔週土曜日午前10時~

★ゼミ生を随時募集しています。興味のある方はお気軽にお問合せください。

NEW スタッフ紹介



研究員 鬼塚 博

地方行財政史専攻。1967年福岡市生まれ。国際基督教大学大学院博士課程修了。学術博士。学術振興会特別研究員を経て3月まで米ダートマス大学客員研究員。

はじめまして。近現代を担当します。飯田をはじめて訪れたのは92年の夏でした。12年前ですが、それから飯田の町並みはかなり変わったように思います。飯田駅があたりしくなり、中央通のいくつかの店は閉店し、アップルロード沿いには大規模量販店が並びました。りんご並木も新しくなりました。町を歩いている人は減ったようですが、車の行きかう量は増えたように感じます。飯田の町のつくりは、ダウンタウンが寂れ、道路沿いのモールに商店が集中するアメリカのそれと似てきているようです。

飯田のみならず、日本の地方を取り巻く状況は、今後ますます厳しくなるというのは衆目の一致するところでしょう。そうしたなかで、地域の誇りやアイデンティティーを確立しようとするものよりも、ありのままの地域を把握するような仕事をしたいと思っています。そうすることが逆に地域に対する愛着を育むことにつながると考えているからです。どうかよろしくお願いいたします。

歴研日誌 4月－6月

- 4月16日(金) 高陵中学校史料所在調査
- 4月17日(土)・18日(日) 飯田アカデミア2004第1講座「中世社会と現代」を開催しました。講師は五味文彦さん(東京大学教授)
- 4月21日(水) いいだFM「農業雑記」について(多和田雅保)放送
- 4月23日(金) 鼎中学校史料所在調査
- 4月24日(土) 南信州新聞連載『伊那谷の歴史11』「農業雑記」から地域史を探る(多和田雅)掲載
- 4月27日(火)
 - ・ 月例研究会「伊賀良支所行政文書の調査報告」(清水迪夫)
 - ・ 史料研究ノート(多和田雅)
- 5月1日(土) 鬼塚博研究員着任
- 5月6日(木) 近現代史ゼミ
- 5月11日(火) 近世史ゼミ
- 5月13日(木) 長野県史料保存連絡協議会総会(松代公民館)に参加しました。(鬼塚・清水・多和田真理子)
- 5月14日(金)・15日(土) 松尾明松田家の土蔵を調査し、近代資料を中心に寄贈を受けました。

- 5月14日(金) 森浩亮家文書所在調査
- 5月15日(土) 南信州新聞連載『伊那谷の歴史12』「近代学校の成立」(多和田真)掲載
- 5月15日(土)・16日(日) 飯田アカデミア2004第2講座「士族と韓国近世社会」を開催しました。講師は吉田光男さん(東京大学教授)
- 5月19日(水) いいだFM「明治中期の学校」(多和田真)放送
- 5月22日(土) 座光寺史学会訪問
- 5月27日(木) 環境自治体会議景観分科会に伊藤毅顧問研究員がコーディネーターとして出席
- 5月29日(土)・30日(日) 歴史学研究会大会参加(鬼塚・多和田雅)
- 5月4日(金)・5日(土)
 - ・ 調査研究のため長野市誌編さん室へ出張(多和田雅)
 - ・ 調査研究のため長野県立歴史館へ出張(多和田真)
- 6月12日(土) 婦人文庫講演(吉田ゆり子顧問研究員)
- 6月12日(土)・13日(日) 大阪歴史科学協議会 大会に参加し、「歴史研究を通じた地域創造の試みー飯田市の場合ー」を報告(多和田雅)
- 6月19日(土)・20日(日) 飯田アカデミア2004第3講座「民衆の教育経験」を開催しました。講師は大門正克さん(横浜国立大学教授)

7～8月のスケジュール

| 7月 | | | | | | |
|-----------------|----|----------------|----|-----------------|----|-----------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 近 ⁶ | 7 | 現 ⁸ | 9 | プ ¹⁰ |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 現 ²² | 23 | あ ²⁴ |
| あ ²⁵ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

| 8月 | | | | | | |
|-----------------|----|-----------------|----|-----------------|----|-----------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 近 ³ | 4 | 現 ⁵ | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 現 ¹⁹ | 20 | 研 ²¹ |
| 研 ²² | 23 | 近 ²⁴ | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

- 開所日 □ 休所日 研 …研究集会 あ …飯田アカデミア
プ …プレシンポジウム 近 …近世史ゼミ 現 …近現代史ゼミ

開所時間 午前9時～午後5時
 休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

